R4.5.22

HP委員会R4.5.22議事録

出席者　島田、廣瀬、布施、山本、河上、土屋、庄子、笹野、井上　　　　9名

1．現状の確認

・さくらネット　プロバイダーにサポートは期待できない。

・WordPress 世界で65％、日本で83％でダントツ

２．サイトの管理

・頻繁なソフトのアップデート

・サーバHDDの容量確認

・プラグインの提供が中断された時

・HPが閲覧できない時

・データが壊れた時

３．事業継続

・もしもの時の備え

・連絡をどうするか？　　　BCPが必要か？

・事故対応を誰が決めるか？

４．体制について

・リスク

・若いメンバーが必要

・複数人体制が必要　　　　現在の体制　リーダー　島田さん

　　　　　　　　　　　　　　　　　　HP管理者3名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　体験塾HP作成者　14名　　聴講者　4名

リスク対応　サイト事故の場合には、最悪イメージ画像が何らかの形でバックアップされていれば、体験塾の申し込みページの再構築は可能では。

リスク対応として、やはりBCPを作成して、備えておく必要がある。廣瀬さんが、素案を作成する。

体験塾応募ページの返信メール送信元の確認

管理者になる人　　　WordPressサイトの構築ができることが望ましい。

５．メーリングリスト

・返信メールが全員ではなく、代表者だけに送る場合はメーリングメールの返信メール先の宛先を個人アドレスに変更する必要がある。

・HPメーリングリストの対象をHP委員より広げて、体験塾HP作成者にも広げてはどうか？さくらネットのセキュリティ情報やWordPressのバージョンアップ情報などが周知できる。廣瀬さんが、メーリングリストのメインテナンスを行う中で、WordPress編集・購読権限を持っている人に広げる。その他希望者にも広げる。各地区で応募する。配信希望者の名前とメールアドレスを、廣瀬さんに報告する。

・動画ユーチューブに上げると、終了後関係ないサイトに飛んで行ってしまうが、これをやめるわけにはいかないか？これは、自分が見たものが表示されるので、特に問題にはならない。人それぞれ違う画像が表示される。

・グーテンベルグでは、ユーチューブの登録も簡単にできる。

６．勉強会について

新しい人にWordPressを学べる機会を作ってほしい。

HP作成者養成には、各地区で作成者から教えたほうがよいのでは。

希望者全員を集めてやってほしい。

日曜日に希望者を集めたWordPress養成講座を開催する方向で検討する。

廣瀬さんにWordPressの全般を、実際の作成は井上から。

７．その他

HPに20周年の記事をのせてはどうか？20周年プロジェクトに原稿を依頼する。

議事録はHPスタッフ用資料室に登録する。